

(発行 2017年 12月 18日)

祝 千田ハルさん

ラジオ深夜便明日へのことば - 8月9日(水) 午前4時台

「砲弾の雨をくぐり抜けて」岩手県釜石市 千田ハル

5 ☆ 2017年(平成29年)12月14日(木曜日)

2017年 12月 14日

東京新聞 夕刊

文化

手塚プロで初 手塚治虫全集



今秋からオンデマンド方式で刊行が始まった「手塚治虫全集」

来年生誕90年 オンデマンド方式で刊行

漫画家の手塚治虫(一九二八―八九九年)が来年に生誕九十周年を迎えるのを記念し、著作権を管理する手塚プロダクション(東京都)が、独自編集としては初の全集として、十一月に刊行された第一弾となる「手塚治虫全集」の刊行を始めた。

丸善ジュンク堂書店(同)が、新書や文庫サイズで出して

きたが、一部は重版未定の状態。オンデマンド出版は売り切れがないため、手塚プロダクションは「新たなファン層を開拓したい」と期待する。手塚が雑誌で読まれることを想定して作品を描いたことから、大きさは雑誌サイズのB5判か、持ち運びしやすいB6判とする。第一弾の価格は、B5判が千四百―千五百円(税別)、B6判は九百円(同)。

全集の刊行を記念し、都内の丸善池袋店に併設のカフェでは、期間限定のメニューも提供中(終了日は未定)。手塚が執筆時にチョコを好んだ逸話にちなみ、鉄腕アトムなど人気キャラを浮かべた「手塚治虫ホットチョコレートドリンク」(税込み六百五十円)と、「ヒョウタンツギ 抹茶フォンダンショコラ」(同千円)がある。(谷佳佳)

女性文化賞に 千田ハルさん

93歳、平和の思い発信

女性の文化の担い手を励まし、その仕事をたたえる「女性文化賞」の第二十一回の受賞者に、岩手県釜石市で五十七年にわたり詩人集団雑誌

「花鏡」の編集に携わり、平和への思いを発信してきた千田ハルさん(93)の写真が選ばれた。同賞は詩人の高良留美子さん(88)が一九九七年に個人で創設し、今年から女性史研究家の米田佐代子さん(86)が賞の贈呈を引き継いでいる。来年一月に地元の有志者祝賀会を開き、その場で賞金五十万円と副賞のリトグラフを贈る。

千田さんは戦時中、製鉄所にタイピストとして勤務し、四五年夏、米軍による二度の艦砲射撃(釜石艦砲射撃)を経験。直後の終戦に大本営発表をうのみにしてきた自身を強く反省し、憲法や文学の学習会を始めた。四七年、先輩からの呼び掛けで「花鏡」の創刊に参加し、詩や短歌、随想などを発表。九二年から二〇〇四年に七十三号で終刊するまでは編集責任者を務めた。

戦争体験を風化させないために市民の証言集を同誌の「分冊」として二十冊作り、合本として刊行。一五年には卒寿記念として絵本「ああ、わが街に砲弾の雨が降る―釜石を二度も襲った艦砲射撃で千人の命が!」を自费出版。今年八月にはNHKラジオ深夜便「明日へのことば」に出演し、戦争体験を語った。(矢島智子)

今年8月にはNHK ラジオ深夜便「明日への言葉」に出演し、戦争体験を語った、と書かれています。

(取材：坂口憲一郎氏)

◆千田さんは、深夜便出演後間もなく、転んで怪我をして約1か月間、入院しました。退院後、「元気になって退院しました。もう少し、釜石艦砲射撃の事を語り続けなさいと、言われているようでした。病院でゆっくり休みましたので、もうひと働きしたいと思います。」と話しておられました。

◆千田ハルさん著書
「ああ、わが街に砲弾の雨が降る」
希望者は編集室に申し込んでください。

tchieko@cocoa.ocn.ne.jp

(編集室：高館千枝子)